

活断層に伴う水の特徴

Characteristics of fluids discharging active faults

田口 幸洋 [1]; 篠倉 一哉 [2]; 細川 勉 [3]; 内田 貴之 [3]; 菱川 一磨 [3]

Sachihiro Taguchi[1]; Kazuya Shinokura[2]; Tsutomu Hosokawa[3]; Takayuki Uchida[3]; Kazuma Hishikawa[3]

[1] 福大・理・地球圏; [2] 福大・理・地球圏; [3] 福大・理・地球圏

[1] Earth System Science, Fukuoka Univ.; [2] Earth System Science, Fukuoka Univ.; [3] Earth System Science, Fukuoka Univ.

福岡県の活断層の警固断層および水縄断層に伴う温泉水の成因を明らかにするために、温泉水や地表水（湧水、河川水）を採取して、化学組成を明らかにし水の同位体比を測定し、その起源を推定した。その結果、両活断層に付随する水は、同位体的には D 、 ^{18}O とも軽い組成を示すものである。標高などもいれる。警固断層では断層が位置する低地の水ではなく、周辺の標高のより高い地域からの水で、水縄断層では断層にほぼ平行して走る筑後川のより上流から水であることが明らかとなった。より標高の高いところを起源とする水の断層を通じたの流入・移動は、断層に伴う流体移動の一つの特徴であると考えられる。